

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	尾鈴土地改良事業		基本目標	農業生産基盤の整備			
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	長友和也	評価者	長町信幸	開始年度 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 染ヶ岡・鬼ヶ久保地区に農地を所有又は耕作されている方々							
	意図・目的 国営かんがい排水事業に伴う関連事業の推進を図り、農業生産基盤の整備を図る							
事業の内容	尾鈴地区国営かんがい排水事業に係る関連事業の推進を図り、染ヶ岡・鬼ヶ久保地区への農業用水のパイプラインかを実施し、農業生産基盤の整備を進める。							
22年度決算額	5,431	千円	23年度予算額	2,205	千円	事業従事者数	H22 0.20 人 H23 0.30 人	
主な支出項目	委託料	4,000	千円	国庫支出金	500	千円	22年度人件費	1,439 千円
	負担金	1,337	千円	県支出金		千円	23年度人件費	2,141 千円
	補助金	94	千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)	77.3 %
			千円	一般財源	1,705	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		染ヶ岡地区畑地かんがい営農組合補助金		
	補助交付団体			染ヶ岡畑地かんがい営農組合		補助金要綱		作成中
	22年度	補助額	40,000	円	補助の形態	運営費補助	23年度補助額	40,000 円 終期 H31 年度
		団体の決算額	262,601	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等			
補助の割合		15.2	%	県営事業により給水開始となるまでの間は、運営補助を継続する。				
	繰越額	204,170	円					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 モデルほ場	かんがい用水の使用による効果を、作物調査により実証する。	
	2 推進委員会	畑かん事業推進に向け、事業化に向けた体制整備を行う。	
	3 県営事業採択申請	平成24年度県営事業着手に向け、年度内に採択申請を行う。	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 畑地かんがい営農組合総会	畑かん施設を利用した営農形態の情報発信を行う。	
	2 推進委員会会議	畑かん事業の推進に向けた活動を行う。	
	3 事業同意取得	事業採択申請のために、関係受益者より事業同意を取得する。	

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	モデルほ場	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	推進委員会	目標値	1	1	4
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	県営事業採択申請	目標値	0	0	1
		実績値	0	0	
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	畑地かんがい営農組合総会	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	推進委員会会議	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	事業同意取得	目標値	-	-	1
		実績値	-	-	
		達成率			

事務事業名	尾鈴土地改良事業	担当課(局)	産業振興課
-------	----------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性) 染ヶ岡・鬼ヶ久保地区に畑地かんがい事業の実施による農業生産の向上と農業経営の安定を図るため、国営関連事業の推進を図る。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性 畑地かんがい事業の必要性など、関係農家への認識は進んできている。	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	2	-
効率性 これまでは、事業化に向けた取り組みを行う中で、事業推進の体制づくりを主に実施し、成果は上がってきています。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
協働性 事業同意等については、申請事業ということもあり、地元役員が同意取得に廻ることになっています。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	2	-
合計(最高18点)		18	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公平性) 当町農業の更なる発展の為に必要不可欠なものであり、公益性は高いものと判断しています。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
	◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)		3	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価 ◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	小丸川左岸の畑地帯農業振興のためには、必要な事業である。	今後の方向性			
		事業の方向性 拡充 現状維持 縮小 廃止			
		廃止	縮小	現状維持	拡充
コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎(町単独補助金のみ)の評価)事業開始までの運営費補助としては必要と考える。 ◎電気代などが増加すれば拡充も考えられるが、現状では維持と考える。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	